

え、AE特別号!?
出たの?



エネルギー情報誌 原子力だよりAE

特別号
spring 2026



vol.163
summer 2025

青森県小学生駅伝競走大会
(アスリートクラブ東北・東北町)
東北町・アスリートクラブ東北の登録メンバーは小学生男子12名、女子9名。今年度も日頃の練習の成果を発揮して、男子Aチームは見事に優勝!これからの活躍も楽しみです。



vol.164
autumn 2025

青森県立大間高等学校
めんちょこ活動部(大間町)
大間一函館間のフェリーを大漁旗を振って出迎える「旗ふりウェルカム活動」で地域を盛り上げる楽しいおもてなし。全校生徒加入の部活動で、1年間で1人最低1回の参加を目指しています。



あおもり 元気ッズ

今年度、原子力だよりAEの表紙を飾ってくれたあおもりの元気ッズをあらためて紹介します。あおもりで頑張っているみんなの姿に感動ももらったよ!



vol.165
winter 2025

六ヶ所スイミングクラブ(六ヶ所村)
六ヶ所村屋内温水プール「ろっぷ」を練習場所とし、水泳の競技力向上を目指し日々練習に取り組んでいます。小・中・高校生、一般の9名の選手が所属しており(令和7年10月末現在)、全国大会に出場する選手を輩出するなど、今後の活躍が楽しみです。



vol.166
spring 2026

むつ市地域交流文化・スポーツクラブ むつ☆かつ(むつ市)
むつ市内中学校部活動の課題を解決するために始まった「むつ市地域文化・スポーツクラブ(愛称:むつ☆かつ)」。学校の枠をこえ、現在、運動系・文化系の計23の活動が行われています。柔道クラブは10名の生徒が在籍し、田名部中学校体育館を練習場所に、日々鍛錬を重ねています。



出たよ

出たよー!

特集

- ① [AE 座談会] ジョナと一緒に考えよう! これからのエネルギーのこと
 - ② 第2回「青森県原子力・エネルギー対策県民会議」を開催しました
- あおもり元気ッズ



ジョナゴールド

資源エネルギー庁の皆さん

【AE座談会】ジョナと一緒に考えよう！ これからのエネルギーのこと

ジョナゴールドが資源エネルギー庁青森原子力産業立地調整官事務所にうかがい、電力・ガス事業部 原子力立地・核燃料サイクル産業課の長田沙瑛花(おさだ さえか)さん、同課核燃料サイクル産業立地対策室の藤垣悠真(ふじがき ゆうま)さん、青森原子力産業立地調整官事務所の村上拓海(むらかみ たくみ)さんに、普段のお仕事のことやエネルギーのこと、広報についてなど、いろいろとお聞きしました。



(左より)
藤垣 悠真さん
村上 拓海さん
ジョナゴールド
長田 沙瑛花さん

【ジョナゴールド プロフィール】

青森県弘前市出身。2022年3月までりんご娘のメンバーとして弘前市を拠点に活動後、2022年4月よりシンガーとしてのソロプロジェクトスタート。デビューシングル「7号線」を同年5月にリリース。青森発のポップシンガーとして注目を集めている。

主にどんな仕事を しているんですか？

【ジョナ】今日は資源エネルギー庁の皆さんに集まっていたきました。普段はどんなお仕事をされているのですか。

【長田】私は霞が関の本庁で、原子力・核燃料サイクル政策を担当しています。自治体や事業者との調整、制度設計を行うのが主な仕事です。



長田 沙瑛花さん

【藤垣】私も本庁で主に自治体との連絡調整や広報を担当しています。特に広報では、青森県が日本のエネルギー政策に大きく貢献していることなどを、県民の皆様や全国の皆様に知っていただけるよう発信しています。

【村上】私はここ、青森原子力産業立地調整官事務所、青森県を中心に活動しています。県や市町村との調整や広報を通じての理解促進に取り組んでいます。

【ジョナ】私は普段青森にいて、原子力というワードが身近な環境で育ってきましたが、全国的に見ると青森県は特殊な地域なのでしょうか。

【長田】日本は使用済燃料を再処理し、再び活用する「核燃料サイクル」を進めています。原子力発電所は全国にあります。使用済燃料を再処理する再処理工場は日本で唯一、六ヶ所村にあります。また、一昨年、むつ市では、再処理するまでの間、使用済燃料を一時保管する中間貯蔵施設が国内で初めて事業開始しました。これらの施設がなければ核燃料サイクルは成立しないため、日本の原子力は青森県に支えられていると言えます。

エネルギー政策について お聞かせください。

【ジョナ】皆さんが原子力・核燃料サイクルを進めるため、日々お仕事に励まれていることが分かりましたが、原子力はどんなエネルギーと言えますか。

【長田】日本は資源に乏しく、火力発電に使う化石燃料のほとんどを輸入しているため、為替や国際情勢の影響を受けやすく、原油など



ジョナゴールド

の価格が上がると、電気料金に直接影響します。原子力発電の燃料となるウランも輸入していますが、原子力は少ない燃料で多くの発電ができるため、価格を押し上げる要因にはなりにくく、CO₂排出も極めて少なく、燃料をくり返し使えるという大きなメリットがあります。

【ジョナ】今の日本のエネルギーは、どんな未来へ向かっているのでしょうか。

【長田】生成AIの普及などにより電力需要の増加が見込まれる中、資源に乏しい日本では、原子力だけではなく、再生可能エネルギーなども活用した、バランスの取れた電源構成を目指しています。

エネルギー政策の大原則として掲げているのが「S+3E」です。「S」は、安全性(Safety)です。特に原子力では、福島第一原子力発電所の事故後、すべての原子力発電所を一度停止し、新しい規制基

■エネルギー政策の大原則「S+3E」



準に適合したもののみ再稼働できる仕組みとなりました。この基準により、例えば巨大な津波への備えも含め、自然災害に対して安全性を確保できるよう、防波堤の整備など、必要な対策をすることが求められます。

「3E」は、安定供給(天候などに左右されず一定の電力を安定して供給すること)、経済効率性(国際的に見ても適正なコストで電力を供給すること)、環境適合(CO₂排出を抑え、環境に配慮した電源

であること)です。

電気は当たり前にあるもの ではない。

【ジョナ】エネルギーを大切に使うために、生活の中で私たちにできることは何かありますか。

【村上】一つは省エネですね。使っていない電気を消す、照明をLEDに替えるなど無理のない省エネ方法もあります。特に青森県では、二重窓にするとといった断熱対策も効果的です。

【藤垣】電気はスイッチを押せば当たり前につくものだと思いますが、限りある資源で発電した貴重なものと知ることが大切だと思います。日本は資源に乏しくて、世界情勢などが電気料金に影響しますし、エネルギーの重要性や



原子力の役割などについて、多くの人に知っていただけるよう理解が広がってほしいなと思っています。

【長田】私たちが毎日、何の不自由もなく電気を使っているのは、発電所から各家庭まで電気を届けるために、多くの人や設備が休まず支えてくれているからです。こうした「当たり前」の裏側にある背景



藤垣 悠真さん

より身近に感じていただけるのではないかと思います。

【ジョナ】電気は決して無くならないと思っている、その感覚自体を見直すことも大切ですね。

**エネルギー政策のこと
もっと知りたい。**

【ジョナ】原子力や核燃料サイクルの話題は普段の生活ではなかなか触れることがなく、テレビで見てもどこか他人事になりがちです

を共有できると、電気を安定して届ける仕組みや、原子力の役割も

よね。今のようなお話はもっと多くの人に知ってほしいです。

【藤垣】そうですね。資源エネルギー庁では「さいくるアイ」という冊子を作成しています。政策と聞くとも難しく感じますが、政策内容を図や写真を使ってわかりやすく、青森県の魅力や名産品、例えば地酒なども紹介しながら読みやすい冊子を心がけています。また、より多くの人に知ってもらえるよう、「知ってほしい、核燃料サ



村上 拓海さん



イクル」というSNSのコラム配信も今年度からはじめています。

【ジョナ】私も家に「六趣スペシャル」というお酒があって、大事に取っているんですが、そういう話題と一緒に載っていると気になりますよね。

【村上】原子力は地域の皆様のご理解無しには進められません。私のような地方事務

所の職員が現場に直接出向き、地域の方々のお話を伺ったり、高校に出向いて出前授業を行ったりといった活動を続けています。また、青森事務所には一般の方が利用できる閲覧室があり、エネルギー政策に関する資料や書籍を自由に閲覧できます。疑問や意見があれば、職員が直接ご説明することもできますので、ぜひご利用ください。

【さいくるアイ】

原子力を含むエネルギー政策や核燃料サイクル政策の最新動向等の情報をタイムリーに発信する定期刊行物。



冊子の詳細は
コチラから



SNSも
ご覧ください



【閲覧室】

経済産業省 資源エネルギー庁 青森原子力産業立地調整官事務所併設しています。エネルギー政策に関する各種資料を揃えており、どなたでもご利用いただけます。

〒030-0861 青森市長島1-3-5
青森第二合同庁舎8階
【利用時間】：10時～12時、13時～16時
※土、日祝日は休館/臨時に休館する場合があります。
【お問合せ先】：017-722-1729



お気軽に
ご利用ください

取材を終えて

青 森で暮らしていると、原子力や核燃料サイクルという言葉が耳にすることはあっても、その意味や背景、関わる人々の努力を知る機会はありません。

今回のインタビューは、自分の生活とエネルギー政策がどうつながっているのか、便利な生活の背景には最善を尽くそうと努力している人たちがたくさんいることを、改めて考えるきっかけになりました。まずは知ってもらうことが第一歩であり、そこから日常生活の中で何ができるかを一緒に考えていくことが大切だと感じました。

青森県が日本全体のエネルギーを支えているという意識を、もっと多くの人に持ってもらえたらと思います。

5名様にジョナゴールドさんのサイン色紙をプレゼント

- 応募締め切り：令和8年3月31日(火)
- 申込みは青森県原子力立地対策課
(メール：g-richi@pref.aomori.lg.jp)まで
【郵送の場合】〒030-8570 青森市長島1-1-1
氏名、送付先住所、原子力だよりAEへのご意見・メッセージをご記入ください。
※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。
(4月発送予定)



ご応募
おまちして
おります

Topics あおもりのエネルギー施設探訪

日本原燃サイクル情報センター・青森県庁 編

日本原燃サイクル情報センター

「遊べる。学べる。」をコンセプトにエネルギーや放射線について、見て、触れて、体験して、遊びながら楽しく知ることができます。



まずは入口でエネルギークイズに挑戦！
10問中8問正解で黒帯認定！結構うれしい~~~~♡

★実験コーナー

【放射線をはかってみよう!】

測定器を使って身の回りの物の放射線を測ることができます。



遮蔽板

★工作体験コーナー



「起き上がりこぼし」づくりを体験。今年の干支にちなんで馬に挑戦！馬だけにうまく作れました。かわいいでしょ？

「遊べる。学べる。」施設は、まさに
コンセプト通り！みなさん、ぜひ
お立ち寄りください。



【ゲーム体験! ボディ&ブレイン】



身体と頭を使った大型タッチパネル式ゲーム体験！8種のゲームの中から「落ち玉キャッチ」にチャレンジしました。結構、ハードでびっくり！

けっこうハード!

【発電体験】

自転車発電で電気をつくって、「くるびー」ねぶたを光らせよう。



「くるびー」ねぶた
光れ〜!



手回し発電で電気をつくると猫のぬいぐるみが踊るんです。なんともかわいい動き♡

特集 ② 第2回「青森県原子力・エネルギー対策 県民会議」を開催しました

令和8年2月25日(水)に青森市内で開催しました。



県民会議(令和8年2月)

議事 1 使用済燃料中間貯蔵事業及び再処理事業に係る実施環境

県では毎年度の使用済燃料の搬入に当たり、国・事業者の取組状況を確認しながら、関係する事業が実施できる環境にあるかを確認しています。令和8年度の搬入に当たり、事業者の進捗状況及び報告を受けた各計画を説明し、ご意見を伺いました。

- リサイクル燃料貯蔵(株)「貯蔵計画」(令和8年1月)
- 再処理工場等のしゅん工に向けた事業者の進捗状況
- 日本原燃(株)「再処理施設の使用計画」(令和8年1月)
- 日本原燃(株)「再処理施設及びMOX燃料加工施設の暫定操業計画」(令和8年1月)
- 電気事業連合会「プルトニウム利用計画」(令和8年2月)

【委員からの意見等(抜粋)】

- ・プルサーマルの実施状況を踏まえると、再処理工場の操業を迎えれば、プルトニウムバランスがいずれ難しくなることが懸念されるが、対策は如何。
- ・使用済燃料中間貯蔵事業・再処理事業の進行については、事業者・自治体間での意見の齟齬がないよう、緊密な連携を行うことを望む。
- ・青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地としないことは県民にとっての重要な関心事となっている。これを確実にするためにも、国には各自治体への情報発信や対話など継続した取組をお願いする。

県では委員の皆様からいただいたご意見等のほか、各計画等を踏まえ、サイクル政策の一貫性やサイクル事業の進捗を確認してまいります。

議事 2 県内原子力施設に係る地域振興

国、県、事業者等が進める地域振興に係る取組についてご意見を伺いました。

▶ 青森県・立地地域等と原子力施設共生の将来像に関する共創会議

共創会議は、国・立地自治体等、事業者等が一体となり、地域と原子力施設が共生していく将来像について共に考え、共に築き上げていくための場として令和5年11月に創設されました(事務局:資源エネルギー庁)。直近の第4回会議(令和8年1月)では、将来像の実現に向けた取組の「工程表」のフォローアップがなされました。



共創会議(令和8年1月)

【工程表に基づく主な取組(県事業)】

- ・原子力・サイクル施設の稼働・操業を支える企業の参入促進:GX青森しごとづくり推進プロジェクトの展開、原子力関連産業への参入促進と受注拡大の推進
- ・多様な主体が連携した地域活性化の促進:「青森GX特別区域」の創設、青森フュージョンエネルギー拠点形成の展開

【委員からの意見等(抜粋)】

- ・単なる経済的支援にとどまらず、「安全・安心」を基盤とした地域づくりが必要。防災教育や救急医療体制の充実を通じて、地域住民の防災意識と対応力を高めることが、持続可能な振興につながる。
- ・避難経路と輸送手段の確保について、今冬のような豪雪、災害級の大雪に対応できる取組や対策はできているのか。
- ・事業者が行っている地域振興で、特に学習応援やエネルギー教育等の教室については、県民に広く行ってほしい。
- ・原子力関連ビジネスの受注拡大を進めていくためにも、各企業がスキルを身につけていく必要がある。そこで、事業者同士で学び合う機会や、事業者と県内企業との勉強会のような機会を検討してほしい。
- ・GX青森推進パッケージ(産業集積拠点整備、企業誘致、県内企業参入、人材育成)について、今後工程表の作成を検討してほしい。

青森県庁(原子力立地対策課)



じゃん! 青森県庁に突撃訪問しました。ここ環境エネルギー部原子力立地対策課は「原子力だよりAE」を発行するなど、職員の方が日々、青森県のエネルギーのことを発信している現場なんです。

あんまり
知ってるよね?
「原子力だよりAE」

今日はありがとう
ございました!
和気あいあい、
皆さんと写真パチリ。

